

書き込み年表 advanced ③、古代ローマ、ローマ帝国 (皇帝の年代は在位をあらわす)

- ・ギリシアのようなポリス(都市国家)から「帝国」へー征服による領土拡大
- ・法律によって平民の権利、政治参加が拡大(法の支配)

前	エトルリア人の王を追放し、貴族共和政へ(509)	貴族(パトリキ)と平民(プレブス)の対立	
500	護民官設置(聖山事件,494)	執政官(コンスル,2名,任期1年)元老院: 役職経験者で構成	
	平民会設置(472)	平民会の投票で護民官選出(民会とは別)	任期は終身、最高の立法機関
400	十二表法成立(450頃)	ローマ最古の成文法、慣習法を明文化	
			平民の不満
300	リキニウス・セクスティウス法(367)	コンスルの1名は平民から選ぶ	武器自弁で兵役に参加(重装歩兵)
		貴族による公有地の占有の制限	貧しい平民が借財を重ねる
			貴族の譲歩(兵士の獲得のため)
	ホルテンシウス法(287)	平民会の決議は元老院の承認がなくとも国法となる	
	タレントウム占領,イタリヤ半島統一(272)	カルタゴとのシチリア島支配	分割統治
	第1回ポエニ戦争(264~241)	をめぐめる争い	征服した地域に待遇の差を設ける
	シチリア島占領(241)		
200	第2回ポエニ戦争(218~201)	ハンニバル(カルタゴ)と大スキピオ(ローマ)	
		カンネーの戦い(216)でカルタゴ勝利、ザマの戦い(202)でローマ勝利	
		貧富の差の拡大	市民の戦役の負担増す
	ラティフンディア拡大(192頃)	大土地経営の所領、戦争捕虜の奴隷を使用	
		無産市民(プロレタリアー,土地を手放した市民)の出現	無産市民ローマに流入
	第3回ポエニ戦争(149~146)	カルタゴ滅亡	無産市民の取り込み策
	シチリアの奴隷反乱(139)	内乱の1世紀	「パンとサーカス」
		平民派: 民会支持、反元老院 閥族派: 元老院中心の政治を支持	
	グラックス兄弟の改革(133~121)	リキニウス法を復活させ大土地所有を制限	元老院の反対で挫折
		無産市民への土地の再配分	(兄暗殺、弟自殺)
			政治抗争に利用
100	マリウスの軍政改革(107~101)	平民派、無産市民を軍隊に取り込む	閥族派スラと対立
	2ndシチリア奴隷反乱(104~99)		(平民派と閥族派)
	同盟市戦争(91~88)	同盟市がローマ市民権を要求	スラ、市民権の付与を約束
	スバルタクスの乱(73~71)	剣闘士スバルタクスの反乱に奴隷たちが合流	剣闘士: 奴隷身分(剣奴)
	ポンペイウス西アジア征服(66~63)カエサル,ガリア遠征(58~51)		
	第1回三頭政治(60)	カエサル(平民派)クラッスス(閥族派)	ポンペイウス、クラッスス鎮圧
	カエサル独裁(46~44)		
	第2回三頭政治(43)	オクタウィアヌス(レビトゥス)アントニウス	アントニウス,パルティア遠征失敗
	アクティウムの海戦(31)	オクタウィアヌス打倒	クレオパトラと結ぶ
A.D.	1	アウグストゥス(B.C.27~A.D.14)	独裁官(ディクタトル)とならず,王の地位も望まず
		オクタウィアヌスの称号	インペラートル(最高軍司令官) = カエサル(の後継者) = アウグストゥス(尊厳者)
			第一人者(プリンケプス) 元首(プリンキパトゥス)
		帝政	形式上民会、元老院を尊重、実質的に軍事・行政・司法を一手に執り行う
		ネロ(54~68)	
		キリスト教徒迫害(ローマの大火,64)ペテロ・パウロ殉教	
		コロッセウム完成(80)	
100		五賢帝	
		ネルウァ(96~98)	
		トラヤヌス(98~117)	ダキア(現ルーマニア),メソポタミア征服(最大領土)
		ハドリアヌス(117~138)	領土縮小,ブリタニアに長城建設,属州の発展に努める
		アントニウス=ピウス(138~161)	貧民救済事業、財政改革
		マルクス=アウレリウス=アントニヌス(161~180)	異民族の侵入に苦慮、領地を遠征、「自省録」残す
200		カラカラ(211~217)	
		アントニヌス勅令(212)	ローマ市民権を全帝国の自由民に与える
		軍人皇帝時代(235~284)	ラティフンディアの奴隷使用行き詰る
		(各地の軍団がそれぞれ皇帝を立てる)	土地所有者が解放奴隷や没落農民を小作人(コロヌス)として使用
		キリスト教徒大迫害時代	(やがて移動の自由制限される)
		ディオクレティアヌス(284~31)専制君主制	中世農奴制の先駆け
300		帝国4分割(四帝分治令,293)	ローマ帝国、階層社会へ
		コンスタンティヌス1世(306~337)	分治体制から再び独裁へ
		キリスト教公認(ミラノ勅令,313)	公会議と正統、異端
		ニケーア公会議(325)	ニケーア公会議: アタナシウス派正統、アリウス派異端
		コンスタンティノーブル遷都(330)	エフェソス公会議(431): ネストリウス派を異端に
		テオドシウス1世(379~395)	カルケドン公会議(451): 単性論派(コプト派)異端に
		キリスト教国教化,他宗教禁止(392)	ローマカトリック、東方正教会ともアタナシウス派
400		ローマ帝国東西に分裂(395)	ゲルマン人大移動開始(375~)

;))

;

)